

# 今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○11月13日～

先週は株価も大きく上昇し、全体的にリスクオンの動きとなりました。

為替相場もドル高円安の動きとなり、ドル／円は週明けから上昇し、週末には高値更新に迫る動きになっています。

先月までは日本と米国の金融政策に対する警戒感が強かったことと米国の長期金利が5%となったことで株価や景気に対する不透明感もありました。

また、イスラエルとパレスチナの問題などもあり、積極的にリスクを取りにくい状況でした。

今月に入って、米国の長期金利が下がってきていることや原油価格が下げていることなどもあり、株価が持ち直したことでマーケットの雰囲気も少し楽観的になっています。

為替相場では、日本の介入が心配されるレベルまで再び戻ってきているので、ドル／円が高値更新して急騰するような動きが出れば介入が起こる可能性があります。

ただし、円高になる要因も少なく、指標で上げ下げはあっても基本的にはドルはしばらく強い動きが続くという予想が多いです。

今週は米国では消費者物価指数、卸売物価指数などの指標が発表されるので、動きが荒くなるかもしれません。

また、米国つなぎ予算の行方も気になります。

米国の政府機関閉鎖のリスクは今のところ少なそうですが政治関連のニュースも見ておきたいです。

世界的なインフレはまだ落ち着いてはいませんが物価指数の上昇は鈍化してきているため米国以外の国も最後の利上げ局面にきています。

このまま経済がソフトランディングできればいいですが経済指標が予想よりも悪化してきた場合は実体経済の行方がどうなるかもマーケットを考える重要な要因になってきます。

クロス円とドル／円で動きが違うので、ニュースとテクニカルを見ながら慎重に取引していきたいです。

## ● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル／円>

先週のドル／円は週明けの149円台から週末には151円台と一本調子の上昇となりました。

今月初めの高値151.7円に近いレートでマーケットは終わっています。

ここを超えると昨年高値の151.9円がターゲットになりますが高値追いは危険です。

## 今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

152円のせとなり急騰した場合は、買いより売りを仕掛けるトレーダーも出てきそうです。日銀はすでにいつでも介入できる準備を整えているという話なので、高値更新の動きが出た場合は警戒感が強まります。

ただし、流れとしては円高になりにくく、高値圏での攻防が続く可能性があります。

下がってきた場合は、買っていき動きも出やすく、150円以下では押し目買いのチャンス待ちたいです。

149-152円のレンジを意識しながらの取引になりそうです。

下値は149.2円、148.8円あたりではサポートされやすく、149円台では買いを狙いたいです。148円台まで下がることであっても買い意欲は続きそうなので、下がれば買いの戦略で考えたいです。

### <気になるクロス円>

クロス円はペアによって動きに差があります。

ユーロは高値更新してきており、今週も高値更新していく可能性があります。

カナダドルも強い動きとなっています。

オセアニア通貨は少し上値が重そうなので、下げてきたら慎重に動きを見極めたいです。

\*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

### <今週のファンダメンタル？>

日本では7-9月期GDP(速報値)、9月機械受注、10月貿易統計などがあります。

米国では10月月次財政収支、10月消費者物価指数、10月小売売上高、10月卸売物価指数、11月ニューヨーク連銀製造業景気指数、前週分新規失業保険申請件数、11月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、10月鉱工業生産、9月対米証券投資、10月住宅着工件数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで11月ZEW景況感調査、ユーロ圏で7-9月期GDP(改定値)、9月鉱工業生産、ラガルド・ECB総裁発言、10月消費者物価指数などがあります。

ほかには英国で10月消費者物価指数、10月小売売上高などがあります。